

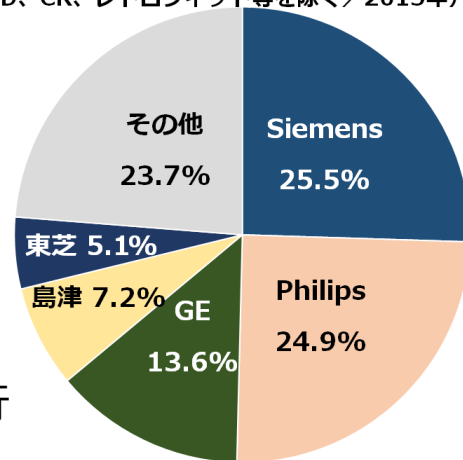
医用機器事業の成長戦略 ～「可視化」と「定量化」でプロの技を普及させ 世界の医療の質向上をリードする～

株式会社 島津製作所

常務執行役員 医用機器事業部長 伊藤邦昌

画像診断機器市場概観

X線診断装置市場シェア
(CCD、CR、レトロフィット等を除く/2015年)



出所：IHS市場レポート

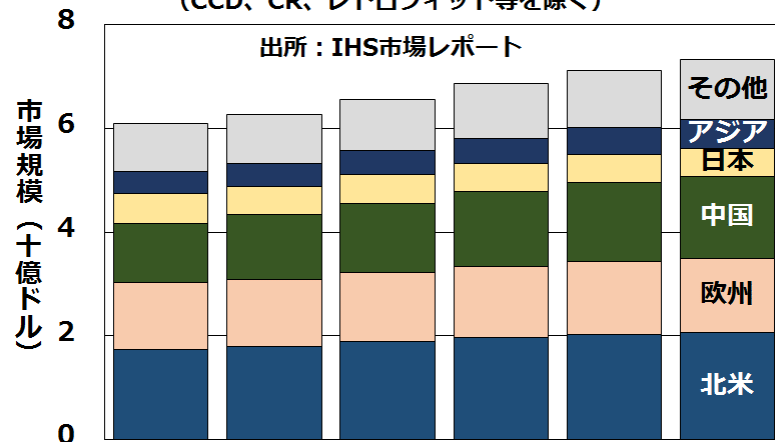
- 世界市場は約3兆円、堅調に成長。

うちX線診断装置の世界市場は約7千億円

- 大手3社に次いで世界4位（シェア7.2%）
- 撮影機種（一般撮影システム、回診用撮影システム）では、
価格競争激化、コモディティ化が進行
- 単一国家で大きな市場を持つ米国、日本、中国が最重要地域
ヘルスケア産業の主要セグメントの市場規模

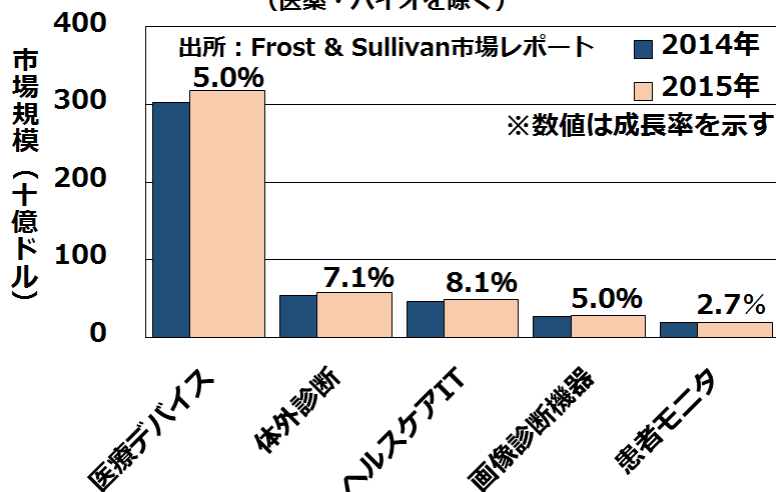
地域別X線診断装置市場推移

(CCD、CR、レトロフィット等を除く)



2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年

(医薬・バイオを除く)

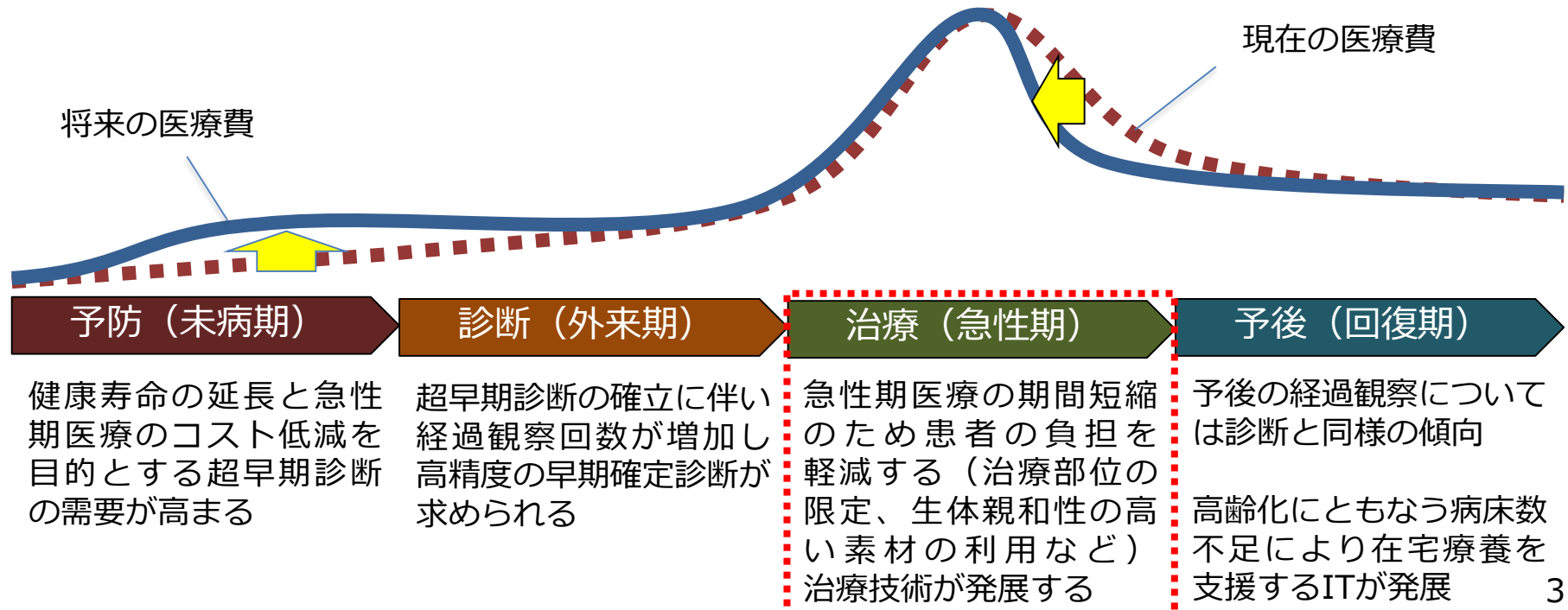


出所：Frost & Sullivan市場レポート
※数値は成長率を示す

予測されるヘルスケア市場環境の変化

● 医療費抑制のキーワードは「予防」と「低侵襲治療」

- 「予防」は体外診断（質量分析、遺伝子解析）が急速に発展すると予測
- 「低侵襲治療」は患者QOLを向上させ、かつ医療費抑制効果が大
- ◆ 医療デバイス進化により透視による位置確認の必要性が高まっている

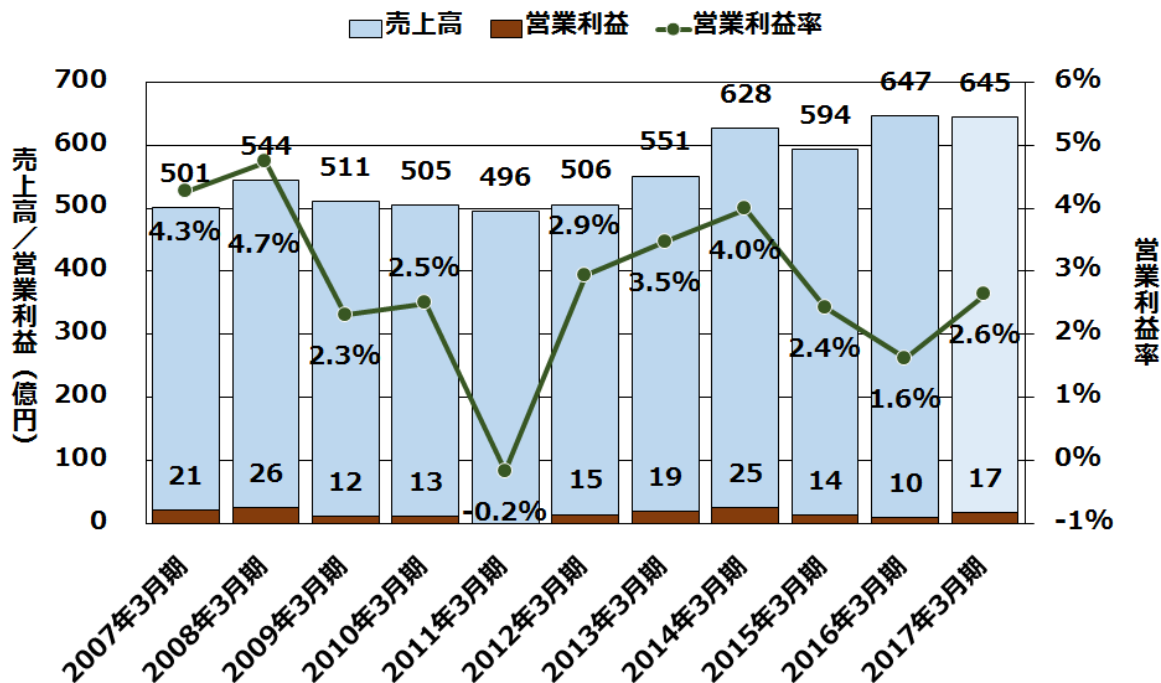


医用機器事業の業績推移

● 成長力の向上と収益構造の改革が不可欠

- 連結売上高は10年間で+144億円（+29%、CAGR2.6%）の成長
- 連結営業利益はリーマンショック以降伸び悩み課題を残す

当社医用機器事業業績推移



製品ラインナップと競争力強化の方向性

X線 診断装置

診断能の拡充



一般撮影
システム



回診用撮影
システム



X線TV
システム

治療支援機能の充実



外科用X線
システム



血管撮影
システム

透視・動画撮影機能

先進的な診断の提案



電子カルテ
システム



PET
システム



近赤外光
イメージング

新たな治療支援の提案



近赤外光
システム



放射線治療用
システム

今後注力する医療分野

● 患者負荷が高まっている疾患に対する医療分野に注力

循環器系疾患

動画画像処理アプリケーションで新しい治療デバイスに対応し最先端の低侵襲治療を支援



血管撮影システム



外科用X線システム



X線TVシステム

筋骨格系疾患

骨解析アプリケーションで骨粗しょう症、骨折治療、人工関節施術を支援

がん

低侵襲化が進むがん治療のうち外科的治療、内科的治療、放射線治療を支援



放射線治療用システム



PETシステム



近赤外光イメージング

認知症

低被ばくの鑑別診断を支援

中期経営計画概要

血管撮影システム事業・北米事業・アフターマーケット事業の強化による
持続的な成長と収益改善の実現

2020年3月期業績目標

連結売上高	710億円 (2017年3月期比 10%増)
連結営業利益	40億円 (2017年3月期比135%増)

血管撮影システム事業

2020年3月期売上高目標：
2017年3月期比57%増

北米事業

2020年3月期売上高目標：
2017年3月期比26%増

アフターマーケット事業

2020年3月期売上高目標：
2017年3月期比9%増

北米事業の強化

● 事業体制の強化と新製品の投入により次なる成長へ

2020年3月期売上高目標：2017年3月期比+26%増

➤ 診断用X線システムの拡販

◆ メディケア保険償還により

2017年からX線装置のデジタル化促進の動き

◆ 第三者評価機関 KLASから

デジタルX線装置で全米No.1評価

◆ 北米仕様の新製品を順次投入

➤ 血管撮影システムの拡販

◆ 販売・サービス体制の整備

➤ 東部顧客サポート強化

◆ 部品センター・研修センターの設置

➤ 現地の固有ニーズに対応した開発体制の整備と共同研究を

契機とした顧客ネットワークの構築



アフターマーケット事業の強化

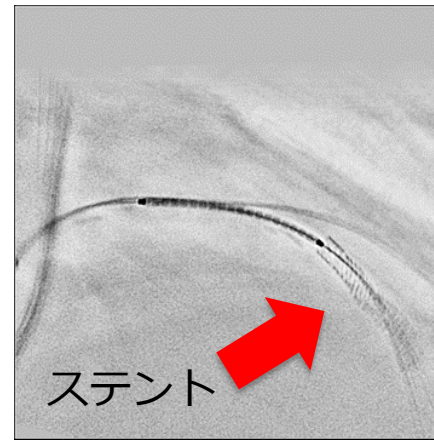
● プレミアムサービスの提供 2020年3月期売上高目標：2017年3月期比+9%増

- 顧客ニーズの変化に対応
 - ◆ 従来：高額部品の故障リスクを低減するために部品保証を含んだ保守契約が増加
 - ◆ 近年：製品品質の向上により故障リスクの減少により顧客ニーズが2極化
 - ✓ 治療支援機器：高い稼働率の保証
 - ✓ 診断機器：長い稼働期間の保証
- 高い稼働率を保証するプレミアムサービスの提供開始
 - ◆ カスタマーサポートセンター開設（日本：2017年4月、中国：2019年）
 - ◆ グローバルパーツセンター開設による部品供給の迅速化
 - ◆ IoTを活用した故障予知機能の実現
- 製品の据付から更新までをサポートする製品ライフプランの提供開始

血管撮影システム事業の強化

● 低侵襲カテーテル治療を支援 2020年3月期売上高目標：2017年3月期比+57%増

- ▶ 被ばく低減、造影剤の低減、治療時間を短縮
- ▶ 日本で発展した「手首から挿入するカテーテルアクセス」が海外へ浸透し、日本で培った当社製品の強みを発揮
- ▶ 低被ばくのX線透視によるカテーテル操作のガイド
- ▶ ステンントを明瞭に確認できるアプリケーションソフト



業績基盤としての診断用X線システム事業の強化

● コア技術の継続した競合力向上、業績基盤の強化



X線TVは消化管検査専用から多目的へ、撮影装置は高齢化社会に向けた幅広い診断機能が求められる

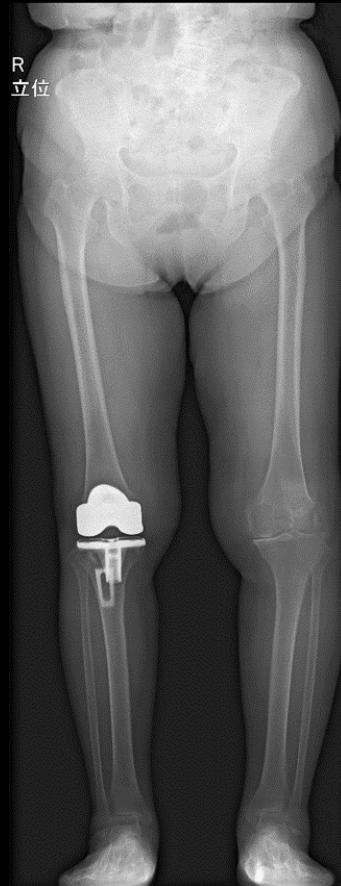
<当社製品の強み>

- X線TVは高級機から汎用機まで多目的検査に対応
- 骨診断・人工関節の術後検査で有用性高い機能、臨床付加価値の創造
- 幅広い撮影装置のラインナップ（自在にFPD組合せが可能）
- 全装置に最新の被ばく低減と管理機能を他社に先駆け搭載



当社製品の強み

可視化・定量化を指向した独自の臨床アプリケーション



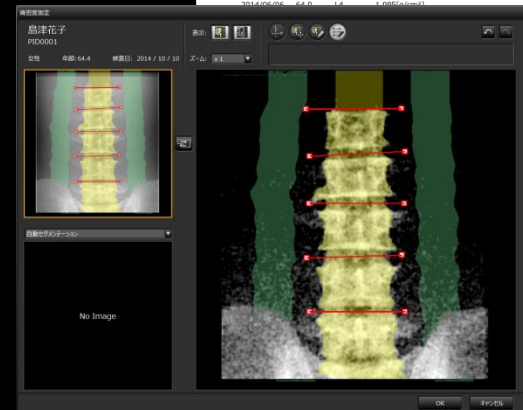
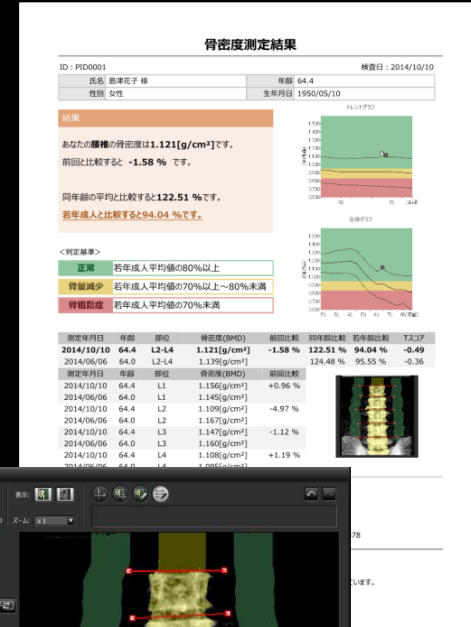
長尺スロット撮影



トモシンセシス撮影



骨密度測定機能Smart BMD¹²



Women's Healthcareソリューションの提案

● 女性の健康への願いを実現

- 乳腺外科、形成外科、ウーマンズクリニックの顧客を拡大
- 乳がんの検診、診断、治療支援に至る独自ソリューションを提供
乳房PET（検診・診断）、LIGHTVISION（治療支援）
GE社製デジタルマンモグラフィ（診断）を加えラインナップ強化（日本）
- 骨粗しょう症検査の効率化・省スペース化
- 1台のX線TVシステムでX線透視検査と骨密度測定が可能



乳房PET

Elmammo



マンモグラフィ

Senographe Pristina™



近赤外光カメラ
システム

LIGHTVISION




骨密度測定機能付
X線TVシステム

SONIALVISION G4

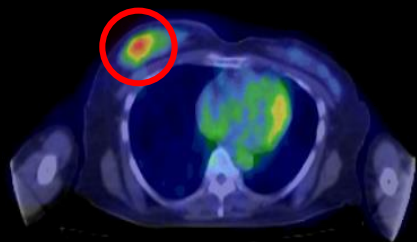


当社製品の強み

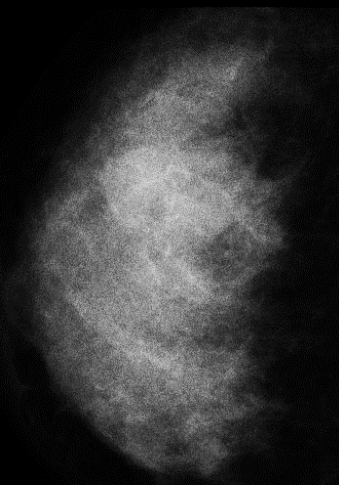
高濃度乳腺の乳がんを描出（症例：浸潤性乳管癌）

データご提供：  社会医療法人厚生会 木沢記念病院
放射線科 西堀 弘記 先生、放射線技術部 小川大輔 先生

一つの腫瘍として認識

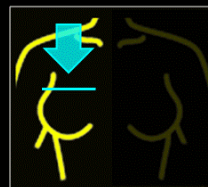


全身PET/CT

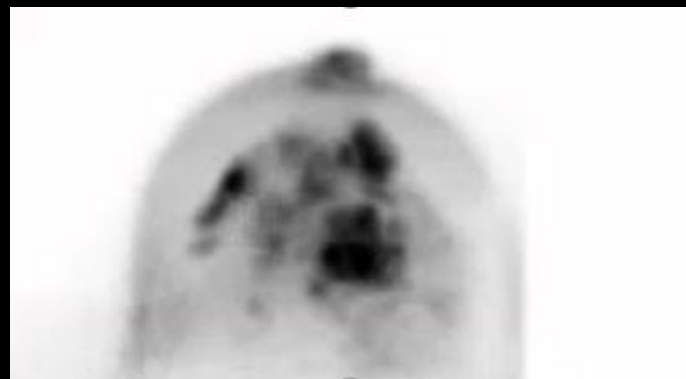
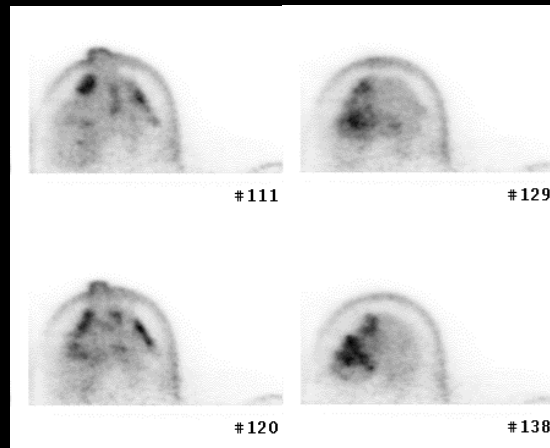


高濃度乳腺の影響で
腫瘍の確認が困難

マンモグラフィ



高精細画像により
微小腫瘍を複数確認



Elmammo

更なる成長に向けて

アドバンスト・ヘルスケア事業の展開

● アドバンスト・ヘルスケア事業

- 大学医学部・病院など専門医療機関との連携を深め、予防・診断・治療・創薬の幅広い分野で、**革新的な製品・サービスの創出**

● 研究開発とビジネスモデルの構築

- ヘルスケアR&Dセンター：2019年1月竣工予定
医用技術と計測後術の融合
オープンイノベーション研究施設
- ヘルスケア事業戦略ユニット：2017年4月設立

ヘルスケアR&Dセンター
完成予想図

● 医療の新たな領域への展開

- 医師の利便性を大幅に向上：迅速検査・手術支援 等
- 従来は発見できなかった変化の検知：バイオマーカー検査・乳がん検査 等
- 創薬・治験の革新を支援：血中薬物濃度検査・創薬支援 等



SHIMADZU

Excellence in Science

科学技術で社会に貢献する
「人と地球の健康」への願いを実現する

- ▶ 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。